

植物多様性センターの「ウンシュウミカン」

果樹林エリアでウンシュウミカンの実がたわわに実りました。ウンシュウミカンにはキシュウミカンとクネンボから出来た品種で、名前には中国の地名である温州(ウンシュウ)と付いていますが日本で生まれた品種です。柑橘類の中では寒さに強いほうで、東京では武蔵村山市などで栽培されています。出来るだけ多くのお客様に良い状態で見たいので、観察の際は実を落としたり、傷付けたりしないようお願いいたします。



樹高3m程度になる常緑低木だが、果樹として低く剪定される。



5月頃に白い花が咲く。子房上位で花弁は5枚。



葉はほぼ全縁で、葉柄と葉身の間には節がある。



俗にミカンのへそと呼ばれている部分は花柱の脱落痕。